

令和4年度学校評価のまとめ

山形県立楯岡特別支援学校大江校

1 令和4年度学校評価保護者アンケートの実施について

(1) 保護者アンケート「学校生活アンケート」

① 実施期間 令和4年11月22日(火)～11月29日(火)

② アンケートの集計方法について

保護者の皆様に記入していただいたアンケート用紙を教頭が直接開封し、集計を行った。

③アンケート項目について

経年における変動が読み取れるように、これまで同様の内容(10項目)とした。

(2) 教員アンケート

① 実施期間 保護者アンケートと同様

② アンケートの集計方法 Google Forms のアンケート機能を活用して行った。

2 学校評価保護者アンケートの結果 ※集計結果参照

(1) 保護者アンケート

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)の4段階で評価

①回収率、回答率ともに100%であった。

②全体の平均値は3.65であり前年度の3.60をわずかが上回った。

③7項目(項目1、2、3、4、5、6、9)で前年度を上回り、段階4と3を合わせた割合が100%であった。項目7(3.59)と8(3.65)についても、前年度より下がってはいるものの、3.5ポイント以上であることから、良い評価をいただいていると捉えている。

④項目10については、前年度から約0.1ポイント減の3.46であった。段階4と3を合わせてほぼ100%であるものの、他の項目に比べ段階4の割合が49%と最も低かったためこの数字となった。この項目については、他の項目と比べ、やや低くなる傾向があり、より理解していただくため今後も継続して情報の発信に努める。

(2) 教員アンケート

①全体の平均値は3.13で前年度の3.14をわずかに下回った。

②個人、全体ともに昨年度より上回った項目は4項目(項目4、6、9、12)で、どちらかが上回ったものは7項目(項目1、2、3、8、10、11、15)、両方とも下回ったものが4項目(項目5、7、13、14)であった。

③比較的数値が高かったものは以下の3項目

番号	設問内容	評価
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、生徒の学習の様子が見えるようにしている。	3.47
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や情報の提供に努めている。	3.42
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が生徒にとって意義のある企画運営になっている。	3.32

④多忙感の解消に向け、理解を得ながら取組を進めることが課題である。

3 改善策

(1) 保護者アンケート

①項目 **10**について

今年度は、コロナ禍以降実施が難しかった直接的な交流活動について、感染の状況に応じて、対策を講じて施すことができた。また、イオンモール天童における作業製品販売会は、2日に分けて、3年ぶりに実施することができた。当日は大変多くの方に作業製品を購入いただき、新聞記事でも紹介されるなど、学校を知っていただくよい機会となった。これからも、交流活動や作業製品の展示会・販売会を通じて情報発信を積極的に行っていく。作業製品の展示会・販売会については、実施する場所や回数、内容等についてより学校のことを知っていただけるものになるよう、計画段階で見直し・検討を行う。

②自由記述では、「学校でコロナの感染者が出た場合の早目の情報提供」について複数ご意見をいただいた。個人情報の観点から難しい部分もあり、対応や臨時休業等については学校医の助言を受けながら実施やその期間を検討、その旨マ・メール等でお知らせを行った。今後コロナの位置付けが5類に移行した際も、学校医と連携し必要な対応を丁寧に行っていく。

(2) 教員アンケート

①項目 **5**について

・実践評価の日や授業づくりの日については、PDCA サイクルを振り返る時間として、また、情報の共有や目標の見直し・確認など、子どもたちのための時間としてより積極的に活用する。

②項目 **13**、**14**について

・自由記述等から、忙しさを感じている職員が多いことや、他学部の様子があまりよくわからないことなどが課題として挙がっている。業務の精選とともに、効率化・平準化を進めていくことが必要である。

4 まとめ 『めざす学校像』の実現に向けて

(1) 「生徒にとって 毎日来るのが楽しい学校」にするために

子どもたちは、毎日明るく元気に学校生活を送っている。生徒が安心して楽しく過ごせるよう、教職員間の情報共有・共通理解を大切に、これからも生徒個々の気持ちに寄り添って支援していく。生徒指導等で緊急の対応が必要な事案が発生した場合は、すぐに関係者でケース会を開き、迅速な対応に努める。また、保護者の協力を得ながら生徒の実態把握に努め、「分かる」授業、意義のある学習活動になるよう工夫・改善を行っていく。（関連項目**1**、**5**、**9**）

(2) 「保護者にとって 安心して任せられる学校」にするために

保護者の方と連絡帳やお便り、校内の掲示等を通して、生徒の学習活動の様子を丁寧にお伝えしてきた。「他学部の様子も知りたい」という声を受け、今年度からは他学部の学部だよりも配付している。また、生徒の体調や言動等で気付いたことは、ちょっとしたことでも保護者に連絡・確認するようにしており、今後もその姿勢を大切にしていく。進路に関する研修や学部行事等については、保護者の方のニーズに合ったものになるよう、より連携を図って取り組んでいく。（関連項目**2**、**3**、**4**、**6**、**7**、**8**）

(3) 「地域にとって 信頼して相談できる学校」にするために

地域の小中学校、高等学校、また各関係機関から相談等が寄せられた場合、できるだけ早急に、丁寧に対応することを心掛けた。学校見学には随時対応しており、来校いただいた方には何かあればいつでも連絡をいただくようお願いしている。今後も、各学校や関係機関と連携を積極的に図っていく。また、学区である西村山5市町の皆様に、より学校のことを知っていただけるよう引き続き情報を発信していく。

(関連項目 [10](#) 教職員アンケート [12](#))

(4) 「教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校」にするために

職場全体としては協働性があり概ね働きやすい環境であると思われるが、より多くの職員がそのことを実感できることが必要である。また、横の連携や共通理解が十分でないことも課題である。子どもたちのために出来ることをチームとして考える時間を大切にし、そのために精選、効率化できるものは行い、より働きがいのある職場を目指していく。(関連項目 教職員アンケート [14](#)、[15](#))